

「岡田副総理が来西」 「西条農業革新都市」から 日本の農業の活性化を！

日本経済団体連合会が推進する「未来都市モデルプロジェクト」の一つとして、西条市が住友化学㈱とともに取り組みを進めている「西条農業革新都市」。この事業は国の「総合特別区域」の指定を受けており、企業と地域農業者が連携して農業の活性化に取り組むプロジェクトとして大きな注目を集めています。

そうしたなか、このほど岡田克也副総理が当市を訪れ、その状況を視察しました。

この視察には、白石洋一衆議院議員、西条市長、住友化学㈱の高尾剛正代表取締役副社長、西条市農業協同組合の加藤尚組合長など多くの関係者も参加。まず、神戸地区うちぬき公園で良質で豊富な自噴水「うちぬき」の水に触れた岡田副総理は、当市が自然環境に恵まれた豊かな大地を有する都市であることを実感された様子でした。さらに、企業のノウハウを活用した先進農業に取り組んでいる㈱サ

ンライズファーム西条のほ場では、岡田副総理から栽培担当の方などに声をかけて意見交換をされたほか、サンライズファーム西条のレタスと西条特産の太秋柿を口にされ、「我が国の農業が元気になるためにも、ぜひこのプロジェクトを成功させてほしい」とのエールが送られました。

■問合せ 市庁舎本館 農業革新都市推進室

TEL 0897-52-1280



▲サンライズファームのレタス栽培を視察される岡田副総理 ▲良質で豊富な自噴水「うちぬき」に親しまれる岡田副総理

J R 伊予西条駅南北の 往来が大きく改善

— ぼっぼ橋が開通しました —

J R 伊予西条駅北側の既存の駅前広場と、現在整備中の駅南広場とを結ぶ「ぼっぼ橋（市道・伊予西条駅自由通路南北線）」が完成し、10月14日に開通式が行われました。

式典ではテープカットなどのほか、開通を祝う地元のだんじり5台が威勢よくかき比べを披露して、この橋の開通に寄せる地域の期待の大きさを同わせました。

また、式典終了後には、待ちかねた約千人の皆さんによって「ぼっぼ橋」の渡り初めも行われました。

この橋の開通により市街地の回遊性向上が大いに期待されるだけでなく、今後、市では国道11号とアクセスする市道と合わせて、賑わいのスペースとして駅南広場の整備を進めることとしています。



問合せ 市庁舎別館都市計画整備課 TEL0897-52-1238

四国のフェリー航路存続のために

— 開催報告 —

四国におけるフェリー輸送の 競争力強化に関する検討会

近年、四国地方ではフェリー航路の廃止や減便が相次いでいます。そうしたなか、海で囲まれた四国に就航するフェリーの既存航路を存続させるため、海上交通の現状や問題点、さらにはフェリー輸送の競争力強化などについて考える検討会が西条市で開催されました。2回目の開催となる今回は、国土交通省四国地方整備局・四国運輸局や四国各県の港湾・交通政策担当、さらにフェリー事業者などが参加して活発な議論が交わされました。

開催地の首長としてあいさつに立った市長は、長距離輸送におけるフェリー航路の重要性や、大地震発生時にも使用可能な耐震強化岸壁の必要性などについて述べました。

また、造船事業者による省エネ船に関する基調講演に続く意見交換の場では、高速道路料金の割引や原油高などで危機的な経営状況にあるフェリー事業者から、コスト削減等の対策には限界があり、現就航船より大型となる省エネ船の着岸に必要なより水深のあるフェリー岸壁の整備などに早急な対策を求める訴えがありました。

これに対し行政側からは、四国の地理的特性を踏まえたうえでフェリー航路の重要性は認識しており、今後、岸壁整備や運営支援などの対策の早急な検討が必要であるとの考えが示されました。



問合せ 市庁舎別館港湾課 TEL0897-52-1236